

平成 28 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

基本目標No.	2	基本目標名	安全で快適な暮らしやすいまち												
施策No.	13	施策名	日常生活の安全確保												
主管課名	環境安全課														
関係課名	市民課・建設課・教育総務課・学校教育課・こども課・社会福祉課														
施策が目指す すべがた	<ul style="list-style-type: none"> ・市民一人ひとりが交通安全意識を持ち、事故のないまちになっています。 ・市民一人ひとりが防犯意識を持ち、犯罪のない安全で住みよい地域社会が実現しています。 ・市民一人ひとりが気軽に相談を受けられる体制が整い、安心安全な暮らしをしています。 														
施策の成果向上 に向けての住民 と行政との役割 分担や地域等へ の期待など	市 事 業 所	<ul style="list-style-type: none"> ・交通法規を遵守し、交通事故防止に努めます。 ・犯罪に遭わないよう「カギかけ」などの防止対策を徹底します。 ・消費者自ら正しい知識を身につけ、消費トラブルに巻き込まれないようにします。 													
	行 政	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全施設の整備を行います。 ・市民に対する交通安全教育や意識の高揚を図るための啓発活動を行います。 ・防犯協会をはじめとした防犯組織の強化及び活動の充実を図るとともに、市民の防犯意識の高揚のための啓発活動を行います。 ・消費者保護のための市民相談体制の整備と消費生活等に関する啓発活動を行います。 													
	そ の 他 (地 域)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ぐるみで交通安全活動や防犯活動を行います。 													
市民意識 調査結果	<施策実感度調査結果> ※26年度までは「満足度」 <table border="1"> <tr> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> <tr> <td>0.203</td> <td>0.200</td> <td>0.173</td> <td>0.215</td> <td>0.263</td> </tr> </table>					24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	0.203	0.200	0.173	0.215	0.263
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度										
0.203	0.200	0.173	0.215	0.263											
<施策重要度調査結果> <table border="1"> <tr> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> <tr> <td>0.843</td> <td>0.889</td> <td>0.779</td> <td>1.118</td> <td>1.019</td> </tr> </table>					24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	0.843	0.889	0.779	1.118	1.019	
24年度	25年度	26年度	27年度	28年度											
0.843	0.889	0.779	1.118	1.019											
施策の トータルコスト	区 分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績						
	A. 本施策を構成する事務事業の数		本数	—	7 (7)	7 (7)	7 (7)	7 (7)	7 (7)						
	うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本数	—	4 (4)	4 (4)	4 (4)	4 (4)	4 (4)						
	うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本数	—	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)						
	うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本数	—	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)						
	うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本数	—											
	B. 事業費 (事務事業の事業費合計)		千円	—	42,591	46,608	48,090	43,471	38,852						
	うち基本事業①を構成する事務事業の決算額小計		千円	—	18,553	18,787	20,563	24,926	20,001						
	うち基本事業②を構成する事務事業の決算額小計		千円	—	21,596	24,386	24,936	15,917	16,029						
	うち基本事業③を構成する事務事業の決算額小計		千円	—	2,442	3,435	2,591	2,628	2,822						
	うち基本事業④を構成する事務事業の決算額小計		千円	—											
C. 施策に携わる正規職員数合計		人	—	20	20	20	20	15							
D. 事務事業に要する年間総時間		時間	—	5,222	3,710	3,920	3,920	3,880							
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)		千円	—	22,972	15,560	17,177	16,390	15,951							
F. トータルコスト (B+E)		千円	—	65,563	62,168	65,268	59,861	54,803							
効率性 指 標	市民1人あたりにおける施策の		円	—	961	1,058	1,104	1,007	910						
	G. 事業費 (定義式 : B/人口)														
	同 上		円	—	518	353	394	380	373						
	H. 人件費 (定義式 : E/人口)														
同 上		円	—	1,479	1,412	1,499	1,387	1,283							
I. トータルコスト (定義式 : F/人口)															
参 考	1時間あたりの平均人件費		円	—	4,399	4,194	4,382	4,181	4,111						
	魚津市の人口(各年度12月末時点)		人	—	44,315	44,036	43,555	43,152	42,706						

基本事業概要シート①

施策No.	13	施策名	日常生活の安全確保
基本事業名①	安全な交通環境の充実		
基本事業①の目的(意図)	交通安全に対する意識の高揚を図るため、広報誌などを通じて啓発活動に努めます。特に高齢者に対し、重点的な働きかけを進めます。また、通学路や交通の安全を確保する必要がある道路を中心に、安全な交通環境を構築します。		
平成28年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【交通安全対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市交通センター、センター地区支部、警察等と連携し、「交通安全県民の日(毎月1日、15日)」及び「春・夏・秋・年末の交通安全運動(期間:各10日間)」において交通安全広報活動を行い交通安全意識の高揚に努めました。また、交通センターに保育園、幼稚園、小中学校、高齢者を対象とした交通安全教育、講習会等を委託し、交通安全に関する知識等の普及啓発や安全行動の徹底に努めました。 ・高齢者運転免許自主返納支援事業については、運転免許の返納を促進させるため、高齢者(65歳以上)の返納者に対し魚津市民バス回数券(5冊分)若しくはタクシー金券(1万円分)を支援した。(返納者 H27:78名、H28:79名) <p>【交通安全施設維持整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民生活や通学路等の道路において、交通事故防止のための交通安全施設(ガードレール、カーブミラー等)の設置や既存施設の修理を迅速、適切に行いました。 <p>【市営自転車等駐車場管理事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市営自転車等駐車場(5箇所)に放置された自転車を66台回収し、11台は所有者に返還、条例に基づき55台を処分しました。また、魚津駅南、北、西側駐輪場の整理業務等を魚津市シルバー人材センターに委託し、利用サービスの向上と周辺環境の保全に努めました。 <p>【市営駐車場維持管理事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅南駐車場の維持管理(料金回収、保守点検、トラブル対応等)を適切に行いました。 ・回数駐車券の販売については、引き続き魚津市観光協会に委託し、販売時間の延長、休日販売を行い購入サービスの向上を図りました。(環境安全課内の販売も継続中) 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度 (中間目標年度)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
交通事故発生件数	件	205	147	125	130 140	125	120	115	110
交通事故死亡件数	件	2	0	1	0 1	0	0	0	0

基本事業①を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成28年度			1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)		
1	一般会計	◎ 交通安全対策事業	7,467,000	7,045,362	421,638	A	環境安全課
2	一般会計	◎ 交通安全施設維持整備事業	10,989,200	10,288,058	701,142	A	環境安全課
3	一般会計	市営自転車等駐車場管理事業	1,162,251	1,124,545	37,706	-	環境安全課
4	一般会計	市営駐車場維持管理事業	1,784,000	1,542,757	241,243	-	環境安全課
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
合計			21,402,451	20,000,722	1,401,729		

基本事業概要シート②

施策No.	13	施策名	日常生活の安全確保
基本事業名②	防犯対策の推進		
基本事業②の目的(意図)	市民の安全確保のため、防犯協会(地区防犯組合)、警察などの関係機関が一体となった防犯活動を推進します。また、防犯対策施設の整備に努めます。		
平成28年度における主な事業内容(活動内容)	<p>【防犯対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯関係団体(「防犯協会」「暴力追放運動推進協議会」「安全なまちづくり推進センター」)や警察と連携し、防犯パトロールの実施や啓発キャンペーン、広報誌の発行等による被害防止対策や啓発活動を行いました。また、魚津神社祭礼(平成28年6月4日～6日)には、「魚津神社祭礼対策協議会」を中心に地区等の防犯組合、学校関係者と連携して巡回パトロールを行い、児童、生徒の非行防止や被害防止に努めました。 【防犯対策施設維持整備事業】 ・夜間における安全・安心の確保のため、市が所有する防犯灯等の修繕等、維持管理を迅速、適切に行いました。また、必要な個所へ防犯灯(3灯)や防犯カメラ(魚津駅北駐輪場 2台)を新設しました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度 (中間目標年度)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
刑法犯発生件数	件	350	230	243	215 262	210	205	200	200
凶悪犯罪の発生件数(殺人、強盗、放火、強姦)	件	2	0	0	0 0	0	0	0	0

基本事業②を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成28年度			1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)		
1	一般会計	◎ 防犯対策事業	2,651,000	2,479,019	171,981	A	環境安全課
2	一般会計	◎ 防犯対策施設維持整備事業	15,712,549	13,550,272	2,162,277	A	環境安全課
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			18,363,549	16,029,291	2,334,258		

基本事業概要シート③

施策No.	13	施策名	日常生活の安全確保
基本事業名③	消費者保護対策の推進		
基本事業③の目的(意図)	増加する複雑な消費生活相談や苦情に対応した相談体制の整備と啓発活動及び情報提供に努め、消費者保護対策を推進します。		
平成28年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【市民相談事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複雑な消費生活相談や苦情に対応するための相談体制を整え、消費者保護に努めました。 ・悪質商法の手口は複雑・多様化しており、被害を未然防止するため、消費生活に関する知識の普及や情報の提供を行うとともに、関係機関と連携しながら、未然防止対策等を行いました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度 (中間目標年度)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
消費者講座の参加者数	人	328	456	612	600 679	600	600	600	600
消費生活相談の解決率 (他機関送致を含む)	%	99.1	100.0	100.0	100.0 100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

基本事業③を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)							
No.	会計名	事務事業名	平成28年度			1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)		
1	一般会計	◎ 市民相談事業	2,875,000	2,821,680	53,320	A	市民課
2					0		
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			2,875,000	2,821,680	53,320		

施策評価結果シート

施策No.	13	施策名	日常生活の安全確保
-------	----	-----	-----------

平成28年度の評価結果(基本事業の成果を考慮し記載)	<p>1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)</p> <p>【①安全な交通環境の充実】 ◆交通事故発生件数(人身事故)は、近年減少傾向にありましたが、平成28年度は前年比15件増の140件と増加してしまいました。富山県全体を見ると平成27年度は3,945件に対し、平成28年度は3,466件と減少しています。(※) ◆交通死亡事故が平成28年11月17日に1件発生したため、交通死亡事故ゼロは途切れましたが、その後は、死亡事故は発生していません。 ※交通事故発生件数 参照「富山県交通事故白書」(カッコ内はH27年度):魚津市140件(125件)、滑川市97件(110件)、黒部市102件(148件)、氷見市74件(82件)、砺波市196件(223件) ◆本市おける事故全体を見ると、65歳以上の高齢運転者が第一当事者となる割合が高いことが特徴です。(平成28年魚津市交通安全事故白書より抜粋)</p> <p>【②防犯対策の推進】 ◆刑法犯認知件数は、若干増加し、前年比プラス25件の262件となりました。富山県全体を見ると平成27年度は6,115件に対し、平成28年度は5,394件と減少しています。(※) ◆犯罪認知件数について、平成28年の特徴としては、車上ねらい、器物損壊、万引きは減少しましたが、自転車盗、オートバイ盗、タイヤ盗、置き引き、詐欺(キセル)が増加しています。また、被害者の「鍵かけ忘れ」による被害も多く、自転車盗の被害は8割強(41件中34件)が、車上ねらいの6割弱(16件中9件)が無施錠被害との報告を受けています。なお、県内では特に特殊詐欺(オレオレ詐欺、還付金詐欺、ギャンブル必勝情報提供、信託受益権譲渡等)の被害が近年、増加してきており、被害金額も増加傾向にあります。 ※刑法犯罪認知件数 参照「富山県警HP」(カッコ内はH27年度):魚津市261件(237件)、滑川市159件(147件)、黒部市125件(163件)、氷見市156件(161件)、砺波市303件(368件)</p> <p>【③消費者保護対策の推進】 ◆消費相談件数は、架空請求相談が最も多かった平成17年度の211件から減少していますが、新たな手口による相談が増加しています。相談件数は、平成22年度は110件、23年度は134件、24年度は145件、25年度は157件、26年度は158件と増加傾向でありましたが、27年度128件、28年度135件となり以前に比べ、健康食品の送りつけ商法による相談が減少してきています。相談は、以前として高齢者が増えています。</p>
	<p>2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (平成28年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)</p> <p>【①安全な交通環境の充実】 ＜交通安全対策事業＞ ◆市交通センター、センター地区支部、警察等と連携し、「交通安全県民の日(毎月1日、15日)」及び「春・夏・秋・年末の交通安全運動(期間:各10日間)」において交通安全広報活動を行い交通安全意識の高揚に努めました。 ＜高齢者運転免許返納事業＞ ◆制度の利用により昨年と同様、79人(H27:78人)の返納者がありました。 ＜交通安全施設維持整備事業＞ ◆交通事故防止のための交通安全施設(ガードレール、カーブミラー等)の設置や既存施設の修理を迅速、適切に行いました。</p> <p>【②防犯対策の推進】 ＜防犯対策施設維持整備事業＞ ◆夜間における安全・安心の確保のため、防犯灯の新設や修繕等の維持管理を迅速、適切に行いました。</p> <p>【③消費者保護対策の推進】 ＜市民相談事業＞ ◆専任の消費生活相談員の配置や職員の専門研修会への参加により、相談体制の充実を図りました。また、パンフレットの配布や出前講座の開催による啓発活動を行いました。</p>
	<p>3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)</p> <p>【①安全な交通環境の充実】 ◆引き続き、市交通センター、センター地区支部、警察等と連携し、交通安全広報や交通安全意識の高揚を図り交通安全対策を推進していきます。併せて、保育園、幼稚園、小中学校、高齢者への交通安全教育、講習会等を各世代や地域社会全体で、交通安全に関する知識等の習得と安全行動が徹底されるよう交通安全思想の普及、啓発に努め、目標とする「交通死亡事故ゼロ1000日」の達成を目指します。 ◆高齢者原因の交通事故を減らすため、運転免許返納者に対する支援(市民バス券若しくはタクシー兼)の額を1万円から2万円に増額し、高齢者の運転免許証の自主返納を今以上に促します。 ◆交通事故防止のための交通安全施設(ガードレール、カーブミラー等)の設置や既存施設の修理等については、引き続き迅速、適切に行っていきます。</p> <p>【②防犯対策の推進】 ◆引き続き、防犯関係団体や警察と連携して防犯パトロールや啓発キャンペーンなどを行い、被害の防止に努めます。また、防犯灯の新設や修繕等の維持管理を迅速、適切に行っていきます。 ◆防犯カメラの設置は、警察や防犯関係団体と連携して危険個所の把握に努め、必要箇所に整備します。 ◆特殊詐欺の被害防止についても、引き続き警察や防犯関係団体及び金融機関等と連携し、啓発活動の強化を図っていきます。</p> <p>【③消費者保護対策の推進】 ◆相談体制の充実や県消費生活センター等との連携の強化を図っていきます。</p>

<p>部会評価 (協議結果、今後の方針及び課題等について記載)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆交通事故の発生件数は平成27年度と比較して増加しており、「交通死亡事故ゼロ」の継続も併せて、引き続き関係団体と連携し、改善に向けた取組みの工夫をしながら、交通安全意識の高揚と交通安全対策の推進に努めていくこと。 ◆刑法犯発生件数が増加傾向にあるので、市民の安全・安心をよりよくするためにも、関係団体と連携し、改善に向けた取組みの工夫をしながら、引き続き、防犯意識の高揚と防犯対策の推進に努めていくこと。 ◆市民相談体制を充実し、消費者保護に努めていくこと。
<p>施策の方針 (今後の事務の取組みの参考)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆市交通センター、同センター地区支部、警察等と連携して交通安全意識の高揚と交通安全対策の推進を図り、「交通死亡事故ゼロ」を目指します。 ◆防犯関係団体や警察と連携し、通学の安全確保や特殊詐欺の防止を重点に防犯意識の高揚と防犯対策の推進を図ります。